

## 音楽の指導に求められる豊かな感性を育む。

「音楽と人間、音楽と社会」との関係を深く研究していくために、教育科目、教養科目を幅広く学びます。

多様な音楽実践を通して音楽の奥深さを体験し、仲間たちとの音楽づくりを通して、音楽を人に伝える方法を思考できる能力を養います。

自らの音楽体験と学校の音楽とのつながりを考え、より専門的な能力を培います。

## 4年間の学び

音楽の授業は、音楽理論、音楽科教育を学ぶ授業、演奏技術を向上させる演習、合奏・合唱などのアンサンブルの授業等があります。1年次には、音楽理論、音楽科教育法、ピアノ、声楽等、幅広い知識を学びます。2年次には、1年次からのピアノと声楽に加え、ソルフェージュ、作曲法の授業、器楽の演奏法を学び、合奏・合唱の授業を行います。3年次には、ピアノ、声楽、器楽、作曲、音楽教育の分野に分かれ、専門的な演習・研究を行います。4年次には、卒業論文と卒業演奏試験に向けてそれぞれ専門的な研究を続けます。

## 特色ある授業・ゼミ紹介

## 合唱指導法

この授業は4年後期にあり、2年次の合唱、3年次の指揮法に加え、さまざまな授業で得た知識を使い、実際に合唱指導を行う授業です。合唱を歌う経験は積み重ねていても、実際に指導する立場になることはあまりありません。しかし、卒業後はすぐに児童生徒たちの前で指導をしなくてはなりません。指導する際にどのようなことに気を付ければいいのか、各々の気づきを話し合いながら進めていきます。また、学生生活の最後に仲間と合唱できる機会でもあり、学びと共に純粋に合唱を楽しむことができる授業です。

## ■ 2022年 1年次前期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限		ピアノI	初等理科教育内容A		教育原論
2時限	情報教育入門	音楽理論	初等音楽科教育内容B	英語I	日本国憲法
3時限	初年次演習	発達と学習の心理学	この時間を使って「学校体験活動入門」の事前指導やガイダンスを行うことがあります。		初等家庭科教育内容A
4時限	キャリアデザインI			声楽I	初等英語科教育内容A
5時限	キャリアデザインI				

## ■ 主な授業科目

- 音楽理論
- 音楽史
- 音楽科教育法
- ピアノ
- 声楽
- 器楽
- 作曲法
- 指揮法
- 合唱
- 合奏

## 取得できる免許

## 【卒業要件に含める免許状】

小学校教諭一種免許状  
中学校教諭二種免許状(音楽)

## 【取得を優先して薦める免許状】

中学校教諭一種免許状(音楽)

## 【所定の科目履修で可能とする免許状】

高等学校教諭一種免許状(音楽)  
◎幼稚園教諭二種免許状  
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

## 先輩Voice



初等教育教員養成課程  
音楽選修4年  
愛知県立西春  
高等学校出身

\*学生の所属は改組前の名称です

ソルフェージュから作曲まで、広く深く学ぶことで  
自分の音楽の幅が広がります。

音楽を主として、他教科の指導方法や教育心理学、教育原論など教育者としての学びが得られることが魅力です。「声楽ゼミ」では楽譜通りにただ歌うのではなく、楽曲に込められた意味や作曲者の意図を汲み取り、それを伝える音楽を奏でることの難しさを実感しました。また、「作曲法研究」の授業はクラシック曲の音楽的構成を学んだり、即興演奏をして分析したりと、自分の音楽の幅が広がります。あまり学ぶ機会が少ない楽曲分析から実践的な演奏方法を学ぶこともでき、どれも楽しく有意義な授業です。